

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		学校図書館運営事業						予算事業名		学校図書館運営事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				10	01	03	23	経常経費							
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業					
		地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり								重点事業					
		学校教育の実践						担当課係等		学校教育課					
						指導課									
事業期間		継続 (平成15年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
児童生徒は読書活動を通じて語彙力や想像力を豊かにする。児童生徒が読書に親しむ機会をより多く提供し、関心を深めるとともに、望ましい読書習慣を身につけさせたい。また、教職員が授業で積極的に学校図書館を使い児童生徒に読書活動を広げられるようにする。								国における読書推進事業計画策定、予算措置を受け、読書活動の奨励事業を加速した。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
・小学校全校に学校図書館司書(嘱託)を配属 ・司書教諭の業務支援 ・読み聞かせやブックトークの実施 ・学校図書館司書の研修 ・学校図書館システムの導入								児童生徒及び教職員							
								【事業をとりまく環境の変化】 小学校全校に学校司書を配置しており、中学校へは月1回から2回を派遣し、環境整備の支援を行っている。							
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】							
各小中学校にある図書室を運営していくための経費 既存図書のデータ化のための経費（中学校）				各小中学校にある図書室を運営していくための経費 既存図書のデータ化のための経費（中学校）				各小中学校にある図書室を運営していくための経費 既存図書のデータ化のための経費（中学校）							
■事業費															
				R05年度		R06年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	5,296	5,372								
歳入計（千円）				5,296		5,372									
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）									
	08	旅費			90		119								
	10	需用費			354		400								
	13	使用料及び賃借料			4,852		4,853								
歳出計（千円）（A）				5,296		5,372									
伸び率（％）						1.43									
備考	総合計画98ページ 予算書175ページ														

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	学校図書館司書配置校	校	目標	9.00	9.00	9.00
	市内全小中学校に学校司書を配置		実績	9.00	0.00	0.00
	学校図書館システム配置校	校	目標	12.00	12.00	12.00
	市内全小中学校に学校図書館システムを導入		実績	12.00	0.00	0.00
成果 指標	小学校学校図書館貸出図書数	冊	目標	70.00	70.00	70.00
	小学校児童への貸出数（1人当りの冊数）		実績	78.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	児童生徒にとって、読書活動から得られるものは多大である。また、県事業を推進するためにも、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	学校司書は市の会計年度任用職員として採用しているが、県費負担の配置が望ましい。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	学校司書の配置は司書教諭の負担軽減につながっているが、現在は小学校のみの配置となっているため、中学校への配置について検討が必要である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	人員効率の指標設定が困難である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全ての児童生徒及び教職員を対象としているため、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	読書活動の成果は向上している。読書活動のみならず、学習センターとしての活用も増えている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	現状の目標設定に到達しつつあるが、最終的な到達点はない。読書についての質的な指標設定が困難である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
学校司書を小学校に配置し、読書活動の推進を図ることができた。中学校には配置がないため、小学校の学校司書を月に1～2回中学校に派遣し、中学校の学校図書館を整備していきたい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
学校司書と司書教諭の連携を図り、学習活動の中での学校図書館の活用を図る。ゆうき図書館とも連携し、読書活動の幅を広げたい。また、中学校を担当する学校司書を令和10年度より1名配置したい。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
方向性の具体的内容 中学校の読書活動推進のために、中学校にも学校司書を配置したい。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） □拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ■改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	